

社会福祉法人 長野市社会事業協会事業報告書

(事務局)

国において社会福祉法人制度の抱える諸問題を整理し、今後も社会福祉法人が福祉の重要な担い手としてあり続けるため、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底するため社会福祉法人制度の改革が行われております。今後、更に経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等が求められてきます。改革に向け積極的に取り組んでいくとともに、本法人の基本理念に基づき、利用者の人としての尊厳を大切にし、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努め、利用者が安心してサービスを受けられる体制を整えてまいります。

さて、平成 26 年度は、法人運営の基本指針である「長野市社会事業協会中長期総合計画」に沿った目標設定、事業の見直し、人材育成、施設整備資金の積立などを行い健全経営に努めた。運営状況については、入所系の事業所で 90.3%の利用率、通所系の事業所で 93.2%の利用率を確保し、資金収支事業収入で前年度比 3.26%の 81,203,002 円増収となった。

平成 26 年度の重点事業として掲げた 3 つのうち、一つ目の「中長期総合計画の後期計画(見直し計画)の策定」については、平成 21 年度に作成した後、法律の改正、制度の変更等があり計画の見直しが必要となったため、計画の検証を行い根幹である法人理念と事業運営の基本的な考えを示した法人の方向性については継続することとし、主に事業部の事業計画、経営計画及び施設整備計画について見直しを行い、利用者から信頼され、安定的な運営を目指すため後期計画を策定した。また、全職員が後期計画の目標、方向性を理解し、情報を共有し職員一丸となって取り組んでいくため、説明会を 10 回開催した。二つ目の「救護施設共和寮改築計画の検討」については、改築検討委員会を組織し、今後の救護施設の在り方を見据えた事業規模、運営方針等を基に、施設規模及び建設費の概要、建設候補地等の検討を行うとともに先進施設への視察研修も行った。三つ目の「管理職、中堅職員の指導者養成と研修の充実」については、人材育成プログラム推進体系を明確にし、職階別(管理職、指導監督職、中堅職員、新任職員)研修を行い、専門性の確保と求められる資質の向上を図った。研修については、法人の研修計画に基づいた内部研修を行いながら、外部機関の専門研修にも積極的に参加し専門性を高めると共に法人内への伝達研修を行い、職員全体の専門性の確保に努めた。また、職員自ら積極的な資格取得のための自己啓発支援制度により、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等、合計 14 名がこの制度を利用して資格を取得し、法人全体のレベルアップの一助となった。

グループホーム関係では、国の補助金を充て市内若穂地区にグループホームを建設し、平成 27 年 3 月にサンハイツほしなを開設した。

安全な施設運営を図るためのリスクマネジメント委員会、個々のケアプランにおいてより質の高い計画・実行・モニタリングを行うためのサービス管理部会、障害者の一般就労の促進及び就労の充実を図るための就労支援部会等、目的別の各委員会(13 委員会)を組織し施設運営の充実に努めた。

施設整備の主なものは、尚和寮で暖房用不凍液の入替工事、ほほえみでトイレ改修工事、長野市ひかり学園で活動室に洗面台設置工事を行い、利用者が生活しやすい住環境の改善を図った。

1 事務局の所在地

長野市若里6丁目6番14号

TEL 217-7800

FAX 217-7824

2 役員（平成27年3月31日現在）

(1) 理事（定数9名 現員9名）

理事長 芝波田 利直

兼常務理事

副理事長 立岩 睦秀

理事 伊藤 篤志 小林 和夫 高野 正晴

町田 勇 曲 洵 文昭 小林 元志

原 武雄

(2) 監事（定数2名 現員2名）

戸井田 一成 関 保雄

(3) 顧問 加藤 久雄

(4) 参与 寺澤 正人

(5) 評議員（定数19名 現員19名）

阿部 孝二 若林 祥 松倉 忠佳

高橋 健次 柳澤 和美 武田 晴男

田野口 紘二 滝沢 勝雄 番場 敏次

宮原 清子 中澤 敏子 荒井 厚雄

中村 幸子 塚田 智彦 平栗 美保子

傳田 恭司 塚田 なおみ 小林 新二

吉澤 茜

3 諸会議

(1) 理事会

開催年月日	開催場所	議決事項
平成26年5月30日	児童発達支援センター	議案第1号 平成25年度事業報告及び決算について 2号 定款の一部改正について 3号 虐待防止規程の制定について 報告第1号 平成25年度資金収支補正予算について 2号 平成25年度積立金の積立及び取崩しについて 3号 参与の選任について 4号 第三者委員の選任について 5号 評議員の選任について 6号 理事の選任について 7号 監事の選任について
平成26年7月2日	ホテルメトロポリタン長野	議案第4号 理事長の互選について 5号 副理事長及び常務理事の委嘱について
平成26年9月9日	児童発達支援センター	議案第6号 更級福祉園の事業の廃止について 7号 中長期総合計画後期計画について 報告第8号 平成26年度資金収支補正予算について

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 26 年 12 月 2 日	児童発達支援センター	議案第 8 号 平成 26 年度資金収支補正予算について 9 号 職員の給与規程の一部改正について 10 号 ほっとらいふ運営規程の一部改正について 報告第 9 号 評議員の選任について 10 号 平成 26 年度資金収支補正予算について
平成 27 年 3 月 20 日	児童発達支援センター	議案第 11 号 経理規程の全部改正について 12 号 資金運用等に関する規程の制定について 13 号 平成 27 年度事業計画及び資金収支予算について 14 号 職員の給与規程の一部改正について 15 号 就業規則の一部改正について 16 号 はなみずき放課後等デイサービス運営規程の制定について 17 号 長野市保育所運営規程の全部改正について 18 号 長野市美和荘運営規程の一部改正について 19 号 障害福祉サービス事業所の運営規程の一部改正について 20 号 苦情解決に関する第三者委員の委嘱について 21 号 評議員の選任について 22 号 施設長の任免について 報告第 11 号 施設長の任免について 12 号 理事の選任について

(2) 監事会

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 26 年 5 月 15 日	児童発達支援センター	平成 25 年度事業執行状況について 平成 25 年度決算について 平成 25 年度財産状況について

(3) 評議員会

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 26 年 5 月 30 日	児童発達支援センター	議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び決算について 2 号 定款の一部改正について 3 号 理事の選任について 4 号 監事の選任について 報告第 1 号 平成 25 年度資金収支補正予算について 2 号 平成 25 年度積立金の積立及び取崩しについて 3 号 参与の選任について 4 号 第三者委員の選任について 5 号 評議員の選任について

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 26 年 9 月 9 日	児童発達支援センター	議案第 5 号 更級福祉園の事業の廃止について 6 号 中長期総合計画後期計画について 報告第 6 号 平成 26 年度資金収支補正予算について
平成 26 年 12 月 2 日	児童発達支援センター	議案第 7 号 平成 26 年度資金収支補正予算について 報告第 7 号 評議員の選任について 8 号平成 26 年度資金収支補正予算について
平成 27 年 3 月 20 日	児童発達支援センター	議案第 8 号 平成 27 年度事業計画及び資金収支予算について 9 号 理事の選任について 報告第 9 号 施設長の任免について

(4) 管理職会

施設運営の向上を期し、2ヶ月に1回会議を開催し、各施設の運営等について協議、検討をするとともに事務連絡を行った。

4 諸委員会

委員会名	回数/年	主 な 協 議 内 容
経営企画会議	16	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の運営方針について ・中長期総合計画の検証、見直しと後期計画の策定について ・諸規程について ・職員採用計画について ・職員希望調書（自己申告）について ・施設事業運営の方向性について ・決算分析について ・予算、決算について
人材育成担当者会議	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画及び研修実施について ・研修体系について ・自己啓発支援制度について
財務担当者会議	24	<ul style="list-style-type: none"> ・予算、決算、補正予算について ・新会計基準移行について ・中長期総合計画経営見込みの見直しについて ・事務マニュアル（財務）について
職員安全衛生委員会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画について ・職場巡視による労働安全衛生点検実施 ・心の健康づくり計画について ・メンタルヘルス研修会 ・職員健康診断について
給与等小委員会	2	<ul style="list-style-type: none"> ・給与改正について ・再雇用職員の賃金について ・諸手当について

委員会名	回数年	主な協議内容
研修推進委員会 (含む職階別研修)	14	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画について ・職階別研修の実施 メンタルヘルス研修等 ・他に初任者研修、事務部会、給食部会等各部会の研修を26回開催
授産活性化委員会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント販売について ・各施設の製品管理について
就労支援部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の現状把握と課題分析 ・個別支援計画について ・プログラム、制度の活用について
情報システム管理委員会	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新、作成について ・個人情報、重要なデータ管理とバックアップについて ・セキュリティ診断チェックの分析について ・記憶媒体の適正な管理について
リスクマネジメント委員会	6	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー養成研修について ・事故報告、ヒヤリハット報告について ・サービスの質の向上とリスクマネジメント研修
権利擁護委員会	2	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切な支援の一掃に向けた取組の推進 ・管理職を対象とした研修（情報共有）
預り金検討委員会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の利用者預り金管理要綱の作成 ・運用に関する研修会の開催
共和寮改築検討委員会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営のシミュレーションについて ・建設候補地の基本的な考え方について ・建設計画（建設費概要）について ・先進施設視察研修

5 苦情解決結果（法人全体）

苦情の件数	苦情の内容	結果
20件	1 施設運営に関すること 1件	1 解決済み 18件
	2 施設設備等に関すること 1件	
	3 職員の資質に関すること 12件	2 継続中 2件
	4 施設生活に関すること 5件	
	① 介護・介助・支援 1件	3 1の内、県福祉サービス適正化委員会でも、取扱いされたもの 件
② 食事 1件		
③ 入浴 1件		
④ 利用者間の人間関係 3件		
⑤ その他 1件		
5 その他 1件		

25年度苦情件数 25件
(解決済み 25件)

1 施設運営に関すること	4件
2 施設設備等に関すること	3件
3 職員の資質に関すること	12件
4 施設生活に関すること	6件
5 その他	1件

6 虐待通報結果（法人全体）

通報の件数	通報の内容	経過及び改善結果
1 件	1 身体的虐待 件 2 性的虐待 件 3 心理的虐待 1 件 4 放棄・放置 件 5 経済的虐待 件 6 その他 件	虐待防止サポートセンターに利用者から、職員の言動により心理的虐待を受けたとの通報あり。該当事業所、法人本部で事実確認し、利用者に対して一職員が不適切な言動があった事実を確認。利用者への謝罪と職員に対して法人の規程に基づき懲戒処分を科し、利用者への暴言、強い態度に出ることがないように嚴重注意を行う。事業所においては、不適切な支援の一掃の取り組みの徹底と職員の意識改革を図った。

7 事務局職員数

職 種	事務局長	事務局次長	書記	合 計
職員数 (人)	1	2	5	8

※事務局次長は長野市ななせ仲まち園園長、長野授産所所長を兼務している。

※上記以外の兼務職員：経営企画会議委員 7 人、人材育成担当 5 人、財務担当 5 人

8 その他

(1) 自己啓発支援制度（職員の資質向上を図る）

国家資格等の合格者に対し、資格取得一時金を支給した。

精神保健福祉士 1 名、介護福祉士 8 名、介護支援専門員 1 名、保育士 1 名

社会福祉主事 3 名

合計 14 名 総額 690,000 円